

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
1	図書館維持管理事業	施設環境維持のための各種保守委託・借上	-
2	図書館運営事業	図書館サービス全般	-
3	図書館コンピュータ・ネットワークシステム推進事業	コンピュータシステムの維持・管理	-
4	図書館資料整備事業	図書館資料(図書、逐次刊行物、視聴覚資料)の整備	-
5	子ども読書推進事業	児童サービス及び家庭・地域・学校等との連携	-
6	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症対応により発生した事務に関すること。	⑧

令和2年度事務事業一覧表

[illegible]

予算事業名	図書館維持管理事業										事業番号	10	-	24	-	01
細分事業名	—										シート作成日	令和2年8月31日				
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	02	事業開始年度	—				
											事業終了予定年度	—				
部 等 名					課 等 名					係 名						
教育部					生涯学習課					図書館						

事業計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P 83	柱	IV 心豊かな人を育てるまちづくり			
			部 門	4 生涯学習			
			大施策	A 生涯学習の環境づくり			
			中施策	（２） 生涯学習施設の充実			
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。			
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則				
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016－2020				
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—	実施項目名	—	
	目 的 （何のために）		施設の良い環境を維持管理するため。				
	対 象 （誰を・何を）		町民・図書館の施設及び設備				
内 容		清掃等の各種保守委託を実施し、施設・設備の維持管理及び修繕を行う。					

事業実施（Do）

事業費	執行体制		一部委託あり				
			単位	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R01年度（決算見込）	R02年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	8,987	8,211	9,151	10,306
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他		392	1,012		408
		一般財源		8,595	7,199	9,151	9,898
	職員人数（概算職員数）		人	0.35	0.35	0.40	0.35
	人件費計（b）		千円	1,975	1,643	1,936	1,650
総事業費（a）+（b）		千円	10,962	9,854	11,087	11,956	
事業費内訳（千円） R 02 年度		需要費：5,635千円 役務費：124千円 委託料：4,378千円 使用料及び賃借料：161千円 負担金、補助及び交付金：8千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指標名		単位	項目	H30年度 （決算）	R01年度 （決算見込）	R02年度 （予算）	R03年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	町民	人	—	31,504	31,338	31,131	31,131
	活動指標 （活動量）	来館者数	人	計画値	150,000	160,000	81,000	108,000
				実績値	162,174	158,118	—	—
	成果指標 （達成度等）	町民1人当たりの来館回数	回	目標値	4.8	5.1	2.6	3.5
				実績値	5.1	5.0	—	—
				達成率	106.3%	98.0%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	④ ニーズに応じて実施する事業ではない		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	平成28年度に自動ドアガイドレール交換修繕、平成29年度に消防車庫トップライト周り雨漏り修繕、平成30年度に地下倉庫壁面漏水修繕、高圧負荷開閉器交換修繕等、令和01年度に自動ドアドアエンジンコントローラー等交換修繕、電算室空調機修繕を実施した。また、蛍光灯からLED照明への交換を順次実施した。			
課題	施設・設備の耐用年数を考慮した修繕及び更新を行う必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	H29年度	—	
		理由	大磯町公共施設等第1期個別施設計画に基づき、長寿命化を図る必要があるため。							
	課題解決への視点		施設・設備の修繕及び更新について、より安価で簡易な方法の調査に努める。							
	着手する事項	R02年度	高圧引き込みケーブル更新工事							
		R03年度	1階男子・女子トイレ便器交換工事、1階みんなのトイレ地下湧水ポンプ交換工事、地下給水ポンプユニット維持補修工事							
	R02年度改善事項		高圧引き込みケーブル更新工事、自動火災報知機設備修繕、空調機温度調整器修繕、誘導灯修繕、照明器具交換工事を行った。							
	記入日									
	令和3年2月26日									

予算事業名	図書館運営事業										事業番号	10 - 24 - 02		
細分事業名	—										シート作成日	令和2年8月31日		
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	03	事業開始年度	—		
											事業終了予定年度	—		
部 等 名					課 等 名					係 名				
教育部					生涯学習課					図書館				

事業計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P 83	柱	IV 心豊かな人を育てるまちづくり			
			部 門	4 生涯学習			
			大施策	A 生涯学習の環境づくり			
			中施策	（２） 生涯学習施設の充実			
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。			
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則				
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016－2020				
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—	実施項目名	—	
	目 的 （何のために）		町民が必要とする資料を適切に提供するため。				
	対 象 （誰を・何を）		町民				
内 容		窓口業務等必要な会計年度任用職員を配置し、利用者への円滑な窓口サービス提供を図る。図書館資料の多様な提示に努め、利用者へ資料提供を行う。生涯学習の場を提供するため、講座を開催する。					

事業実施（D.O.）

事業費	執行体制		職員実施				
			単位	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R01年度（決算見込）	R02年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	16,248	16,929	16,278	20,326
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他		326	346		246
		一般財源		15,922	16,583	16,728	20,080
	職員人数（概算職員数）		人	2.85	2.25	2.75	2.55
	人件費計（b）		千円	16,083	10,800	12,951	12,157
総事業費（a）+（b）		千円	32,331	27,729	29,229	32,483	
事業費内訳（千円） R 02 年度		報酬：14,675千円 職員手当等：2,057千円 共済費：155千円 報償費：40千円 旅費：560千円 需用費：791千円 役務費：1,118千円 委託料：210千円 使用料及び賃借料：608千円 備品購入費：70千円 負担金、補助及び交付金：35千円 公課費：7千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者				230,000人	
	指 標 名		単位	項 目	H30年度 （決算）	R01年度 （決算見込）	R02年度 （予算）	R03年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	町民	人	—	31,504	31,338	31,131	31,131
	活動指標 （活動量）	貸出点数	点	計画値	170,000	170,000	120,000	144,000
				実績値	175,337	158,118	—	—
	成果指標 （達成度等）	町民1人当たりの貸出数	点	目標値	5.4	5.4	3.9	4.6
				実績値	5.6	5.0	—	—
				達成率	103.0%	93.3%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価（Check）

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
過去の外部評価における指摘事項		—		
主な改善経過（過去4年間）		図書館資料を利用者がより手にとりやすいよう、テーマ別展示の実施回数を増やした。 図書館ホームページに郷土資料のうち絵葉書などのデジタルアーカイブ及びテーマ別資料紹介「大磯ふるさと往還」を随時公開した。		
課 題		多様化する利用者要求に対して、適切な図書館資料提供方法を研究する必要がある。		

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区 分	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	H29年度	—
		理 由	町民ニーズに対応できるよう、多様な資料提供を継続する必要があるため。						
	課題解決への視点		利用状況及び「リクエストカード」、「カウンターひとことメモ」を活用し、利用者ニーズの把握に努める。						
	着手する事項	R02年度	「大磯町立図書館サービス計画」を策定する。						
		R03年度	「大磯町立図書館サービス計画」の進捗管理を行う。						
	R02年度改善事項		「大磯町立図書館サービス計画」を策定した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した利用者サービスを実施した。						
	記入日								
	令和3年2月26日								

予算事業名	図書館コンピュータ・ネットワークシステム推進事業									事業番号	10 - 24 - 03		
細分事業名	—									シート作成日	令和2年8月31日		
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	04	事業開始年度	—	
											事業終了予定年度	—	
部 等 名					課 等 名					係 名			
教育部					生涯学習課					図書館			

事業計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P 83	柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり			
			部 門	4 生涯学習			
			大施策	A 生涯学習の環境づくり			
			中施策	（２） 生涯学習施設の充実			
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図ります。			
	根拠法令・条例等			図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則			
	個別計画等			大磯町立図書館サービス計画2016－2020			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目 的 （何のために）			図書館業務全般を効率的に運用するため。			
	対 象 （誰を・何を）			町民・図書館業務全般			
内 容			図書館コンピュータ・ネットワークシステムの維持管理を行い、各種窓口業務、蔵書管理、インターネット蔵書検索など図書館業務の効率的な運営を図る。学校図書館との連携を進める。				

事業実施（Do）

事業費	執行体制		職員実施				
			単位	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R01年度（決算見込）	R02年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	6,437	6,671	6,637	7,437
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		6,437	6,671	6,637	7,437
	職員人数（概算職員数）		人	0.30	0.25	0.30	0.30
	人件費計（b）		千円	1,693	1,229	1,472	1,482
総事業費（a）+（b）		千円	8,130	7,900	8,109	8,919	
事業費内訳（千円） R 02 年度		需用費：170千円 役務費：248千円 使用料及び賃借料：7,019千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指標名		単位	項目	H30年度 （決算）	R01年度 （決算見込）	R02年度 （予算）	R03年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	図書館利用登録者数	人	—	24,310	24,969	25,000	18,000
	活動指標 （活動量）	インターネット予約件数	件	計画値	17,000	17,000	18,000	18,000
				実績値	16,935	14,180	—	—
	成果指標 （達成度等）	貸出点数	点	目標値	170,000	170,000	120,000	144,000
				実績値	175,337	158,118	—	—
				達成率	103.1%	93.0%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はない	② ない		
		関連・類似事業との統合はできない	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られている	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	平成27年度に図書館コンピュータ・ネットワークシステムのリプレースを実施した。平成29年度に学校図書館のパソコンを新規リースした。			
課題	令和2年度のコンピュータ・ネットワークシステム更新に向けて、学校図書館連携を含めた調査・研究を行う必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	改善	R01年度	改善	H30年度	維持	H29年度	—	
		理由	コンピュータ・ネットワークシステムを定期的に更新し、学校図書館との連携を深め、効率的な図書館業務の運用を行う必要があるため。							
	課題解決への視点		図書館コンピュータ・ネットワークシステムについて、調査・研究を行う。							
	着手する事項	R02年度	図書館コンピュータ・ネットワークシステムの更新を行う。学校図書館連携システムを準備する。							
		R03年度	学校図書館連携システムを準備・開始する。							
	R02年度改善事項		図書館コンピュータ・ネットワークシステムの更新を行い、ホームページをリニューアルし、利便性を向上させた。							
	記入日									
	令和3年2月26日									

予算事業名	図書館資料整備事業									事業番号	10 - 24 - 04	
細分事業名	—									シート作成日	令和2年8月31日	
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	05	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部 等 名					課 等 名					係 名		
教育部					生涯学習課					図書館		

事業計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P 82	柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり				
			部 門	4 生涯学習				
			大施策	A 生涯学習の環境づくり				
			中施策	（２） 生涯学習施設の充実				
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図る。				
	根拠法令・条例等		図書館法、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則					
	個別計画等		大磯町立図書館サービス計画2016-2020					
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—		実施項目名	—	
	目 的 （何のために）		年間を通じて定期的かつ計画的に図書館資料を整備し、町民の多様なニーズに応えるため。					
	対 象 （誰を・何を）		町民・図書館資料					
内 容		一般書、児童書、郷土資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の選定・購入・受入・整理・保存を行い、図書館資料を管理する。						

事業実施 (Do)

執行体制		職員実施					
事業費			単位	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R01年度（決算見込）	R02年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	9,810	9,820	9,820	9,821
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他		3	1		
		一般財源		9,807	9,820	9,820	9,821
	職員人数（概算職員数）		人	0.85	0.65	0.85	0.80
	人件費計（b）		千円	4,797	3,273	3,273	3,817
	総事業費（a）＋（b）		千円	14,607	13,093	13,093	13,638
事業費内訳（千円） R 02 年度		需用費：9,821千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指 標 名		単位	項 目	H30年度 （決算）	R01年度 （決算見込）	R02年度 （予算）	R03年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	町民	人	—	31,504	31,338	31,131	31,131
	活動指標 （活動量）	購入冊数	冊	計画値	4,060	4,060	4,060	4,060
				実績値	4,438	4,173	—	—
	成果指標 （達成度等）	人口1人当たりの購入冊数	冊/人	目標値	0.13	0.13	0.13	0.13
				実績値	0.14	0.13	—	—
				達成率	109.3%	102.8%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項		—		
	主な改善経過 (過去4年間)		資料整備時に、情報入力する項目を増やすことにより、利用者が図書館資料の情報をより多く得られるようにした。郷土資料の整備を積極的に行った。利用者の課題解決や調査を支援するため、それぞれの分野の図書館資料の充実・更新を図った。		
課題		未整理の図書館資料の整備をする必要があり、また、引き続き利用者の多様なニーズに応えた図書館資料構成を発展させていく必要がある。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	改善	R01年度	改善	平成30年度	—	平成29年度	—
		理由	今後も利用者の多様なニーズに応えた図書館資料構成を発展させていく必要があるため。						
	課題解決への視点		利用者の多様なニーズに応え、将来に渡っての利用を考慮した体系的な資料選定を行い、整備を行う。						
	着手する事項	R02年度	利用者の課題解決や調査・研究を支援するため、参考図書の充実・更新を図る。						
		R03年度	社会情勢の変化により健康に関するニーズが高まる中、利用者の課題解決や調査・研究を支援するため、健康に関する図書の充実・更新を図る。						
R02年度改善事項		多分野に渡って、幅広く参考図書を収集することにより、利用者の課題解決へ向けた支援を目指し、図書館資料として82点の参考図書の受入を行い、資料の充実を行った。							
記入日									
令和3年2月26日									

予算事業名	子ども読書推進事業									事業番号	10	-	24	-	05
細分事業名	—									シート作成日	令和2年8月31日				
予算科目	会計	01	款	10	項	05	目	02	事業	06	事業開始年度	—			
											事業終了予定年度				
部 等 名					課 等 名					係 名					
教育委員会					生涯学習課					図書館					

事業計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P 83	柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり			
			部 門	4 生涯学習			
			大施策	A 生涯学習の環境づくり			
			中施策	（２） 生涯学習施設の充実			
			施策目標	施設環境を整備し、所蔵資料の充実を図る。			
	根拠法令・条例等			図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例施行規則			
	個別計画等			大磯町立図書館サービス計画2016-2020（附）第三次大磯町子ども読書活動推進計画			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目 的 （何のために）			家庭、地域、学校等と連携して読書環境を整備し、子どもの自主的な読書活動を推進するため。			
	対 象 （誰を・何を）			乳児、幼児、児童、生徒。			
	内 容			４か月健診時のブックスタート、おはなしと紙芝居、幼稚園・保育園年長児の図書館見学、小学４年生の学級招待、小学校新入生へのステップブック等の事業を実施するとともに、学校図書館との連携を図る。			

事業実施（Do）

執行体制		職員実施					
事業費		単位	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R01年度（決算見込）	R02年度（予算）	
	直接事業費（a）		千円	800	740	877	775
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		800	740	877	775
	職員人数（概算職員数）		人	0.65	0.50	0.70	0.75
	人件費計（b）		千円	3,668	2,198	3,113	3,432
	総事業費（a）+（b）		千円	4,468	2,938	3,990	4,207
事業費内訳（千円） R 02 年度		報償費：100千円 需用費：361千円 役務費：50千円 使用料及び賃借料：264千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			生涯学習施設来館者数				230,000人	
	指 標 名		単位	項 目	H30年度 （決算）	R01年度 （決算見込）	R02年度 （予算）	R03年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	おはなし会参加人数	人	—	1,223	1,060	500	1,000
	活動指標 （活動量）	おはなし会開催回数	回	計画値	110	110	75	110
				実績値	108	96	—	—
	成果指標 （達成度等）	実施回数当り参加者数 （おはなしと紙芝居）	人/回	目標値	11.1	9.6	6.6	9
				実績値	11.3	11	—	—
				達成率	101.8%	114.6%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項		—		
	主な改善経過 (過去4年間)		ブックトークと工作・実験を行う「本といっしょの夏休み」と「冬休みも本といっしょ」や、小学校新入生全員に「ステップブック」リストと読書通帳の配布、「おはなし会のお知らせ」の配布、子育て支援課主催事業である「放課後子ども教室」への参加などを継続的に実施した。おはなしボランティア養成のため、H30年度にはおはなし会での絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどの講座を実施し、R01年度には紙芝居に関する講座を実施した。また、「おはなし」だけのおはなし会を開催した。		
課題		子どもの持つ新たな課題やニーズを調査・研究し、対応していく必要がある。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R01年度	維持	H30年度	維持	H29年度	—	
		理由	子どもの自主的な読書活動の推進を行う必要があるため。							
	課題解決への視点		公立図書館としての役割を認識しつつ、新たな課題に対応する計画を策定する。							
	着手する事項	R02年度	「第四次大磯町子ども読書活動推進計画」を策定する。							
		R03年度	「第四次大磯町子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの自主的な読書活動の推進を行う。							
	R02年度改善事項		「第四次大磯町子ども読書活動推進計画」を策定した。 町内小学校図書委員や4年生のおすすめの本を紹介したポップを借用・展示することで来館を促し、子どもの持つ新たな課題やニーズの調査・研究を行った。併せて各学校図書館へ団体貸出を積極的に行い、そこで得た情報を基に児童書を選定。絵本や児童書だけでなく伝記や図鑑等も積極的に購入し、子どもの読書意欲の向上を図った。							
	記入日									
	令和3年2月26日									